

## 企画情報部

センター内の調査研究に関する総合的な企画調整、保健衛生分野に関する調査研究、関係機関に対する技術支援、保健衛生・環境保全に関する情報の収集・解析・管理・提供、普及啓発活動を行った。

また、栃木県庁 EMS の所内での運用管理を行った。

### 1 試験研究の企画調整

センターで行う調査研究について、以下の会議において評価、進行管理、技術交流などを実施した。

#### 1.1 内部評価委員会の運営

センターで実施する調査研究の評価について、総合調整を含め内部評価委員会で執り行なった。その開催状況は表1のとおりである。

### 1.2 外部評価の実施

センターで実施中の調査研究のうち、より客観的かつ公正な評価を行う必要があるものについて、所長が委嘱した学識経験者5名による外部評価を実施した。実施状況は表2のとおりである。

#### 1.3 保健環境センター試験研究連絡会議の運営

センターで実施する行政依頼検査及び調査研究について、関係機関と協議・意見交換を行った。連絡会議の開催状況は表3のとおりである。

#### 1.4 栃木県試験研究機関連絡協議会における交流会の開催・参加

県試験研究機関（7機関）で共同研究や研究者交流会を実施している。交流会の実施状況は表4のとおりである。

表1 内部評価委員会開催状況

区分	開催日	内 容
第1回	29. 5. 16	平成29年度調査研究の新規課題(6題)及び継続課題(4題)について事前評価及び中間評価を実施
第2回	29. 9. 5	平成29年度外部評価対象課題について協議
第3回	30. 3. 8	平成29年度実施した調査研究について中間評価を実施(10題を継続)

表2 外部評価実施状況

開催日	内 容
29. 11. 30	平成29年度実施中の調査研究について (4題)

表3 試験研究連絡会議開催状況

区分	開催日	協 議 事 項
環境部会	30. 3. 2	行政検査実施計画、調査研究課題等

表4 試験研究機関連絡協議会 交流会実施状況

開催日	概 要	参集者数
29. 12. 5	○第1回交流会 交流会(酪農畜産研究センター 那須塩原市)	15名
30. 2. 9	○幹事会・第2回交流会 幹事会	11名
〃	交流会(産業技術センター 宇都宮市)	20名

\* 試験研究連絡協議会 構成機関(平成30年3月31日現在)  
林業センター、保健環境センター、産業技術センター、農業試験場、水産試験場、  
県央家畜保健衛生所、畜産酪農研究センター

### 1.5 地方衛生研究所全国協議会及び全国環境研協議会との連絡調整

これらの協議会の会員機関として、調査等に協力し、会議出席等の連絡調整、また会員機関同士の情報交換を行った。

また、第7回地方衛生研究所全国協議会関東甲信静支部公衆衛生情報研究部会を、事務局として平成29年11月17日に開催した。

### 2 技術的指導援助

県及び市町職員に対し、保健衛生及び環境保全に関する研修や技術的支援を行った。

また、試験検査機関に対し精度管理事業を行った。

#### 2.1 技術指導

初めて保健環境関係の試験検査を担当する職員に対する検査技術の基礎的知識及び基本操作についての研修を行った。

平成29年度の実施状況は表5のとおりである。

表5 試験検査技術研修の実施状況

実施日	研修内容	受講者	担当部
29. 5. 11 ～12	試験検査初任者研修(工場排水) 県南健康福祉センター他	3名	水環境部
29. 5. 18 ～19	試験検査初任者研修(食品理化学検査法) 県南健康福祉センター他	3名	食品薬品部
29. 5. 22 ～26	試験検査初任者研修(食中毒菌検査法) 県西健康福祉センター他	4名	微生物部
29. 8. 25	臭気測定研修会(県環境保全課と共催) 市町担当者	27名	大気環境部

表6 外部精度管理実施状況

実施区分	実施時期	検査項目	参加機関	担当部
細菌試験	29. 9. 5～ 9. 29	病原細菌	行政8機関	微生物部
水質試験	29. 9. 5～ 9. 29	生物化学的酸素要求量(BOD)、 ふっ素及びその化合物	行政4機関、民間15機関	水環境部

表7 精度管理委員会の開催及び検討会実施状況

開催日	区分	実施区分	内容
	委員会		平成29年度試験検査精度管理調査結果について 平成30年度試験検査精度管理調査について
29. 12. 21	検討会	細菌試験(微生物部)	外部精度管理参加機関へ調査結果などの報告
		水質試験(水環境部)	外部精度管理参加機関へ調査結果などの報告

### 2.2 保健衛生及び環境保全に関する講演会・研修会の実施

センター職員の資質向上を図るため、職場研修を開催した。

### 2.3 精度管理事業

保健衛生及び環境保全に関する試験検査機関の検査精度の信頼性を確保するため、行政機関(健康福祉センター等)や民間機関(環境計量証明機関)を対象に「外部精度管理」を実施した。

実施にあたっては、当センターで予め調製した検体を参加機関に配布し、それぞれの機関で検査した結果を学識経験者、本庁関係課長等からなる「試験検査精度管理委員会」で評価した。実施状況は、表6、表7のとおり

である。

なお、精度管理の詳細については「VI 資料」に記載した。

### 3 情報管理・提供

保健衛生・環境保全に関する行政需要に的確に対応するために必要な情報の収集・解析を行い、本庁関係課や健康福祉センター等に提供した。

また、一般県民向けの相談・情報提供も行った。

#### 3.1 栃木県感染症情報センター

厚生労働省が中心となり、全国で感染症発生動向調査事業が実施されている。各都道府県・政令指定市に感染症情報センターが置かれており、本県では当センターが

「栃木県感染症情報センター」として次の業務を行った。

- (1) 県域内のシステム管理者として、ユーザー管理・技術支援を行った。
- (2) 県全体の集計・解析・情報蓄積を行い、流行状況を把握し、関係機関に情報提供した。
- (3) 県全体の集計値を毎週ホームページ上で一般に公開した。
- (4) メーリングリスト「TIDC メール」を毎週発行し、主にホームページの更新情報を周知した。
- (5) 毎月開催される「栃木県結核・感染症サーベイランス委員会」に事務局として資料作成・提供した。
- (6) 国内外の感染症に関する情報を公的関係機関が発行するメーリングリストによって収集し、本庁関係課や健康福祉センターあて情報提供を行った。

### 3.2 脳卒中発症登録事業での情報管理

県において実施している「栃木県脳卒中発症登録事業」のうち、医療機関からの発症報告の登録管理を行った。平成29年度の登録件数は延べ4,875件であった。

### 3.3 栃木県保健環境センター年報の発行

センターの事業や調査研究を紹介する「栃木県保健環境センター年報第22号 平成28年度版」を発行し、県内外の関係機関等へ配布した。

### 3.4 ホームページの運営

センターの概要や各部の業務及び試験検査・調査研究の紹介並びに栃木県感染症情報センターからの最新情報を提供するため、「栃木県保健環境センターホームページ」(<http://www.thec.pref.tochigi.lg.jp>)を平成12年10月に開設し運営している。

平成29年度のトップページへのアクセス数は、延べ5,297件であった。

### 3.5 「保健環境センターだより」の発行

センターの業務を紹介し興味を持ってもらうために、「保健環境センターだより」を発行した。平成29年度はVol.16～18の3号を、近隣自治会へ配付、関係機関へのメールの配信及びセンターホームページに掲載した。

### 3.6 個別相談

平成29年度の保健・環境情報を提供し、関係機関からの個別相談に対応した。各健康福祉センター等に標準化死亡比(SMR)の情報などを提供した。

### 3.7 所内情報システムの運用管理

センターにおける調査研究・試験検査を支援するため、

他から独立したネットワークである所内LANシステムを運用した。

## 4 普及啓発

センターに対する理解の促進を図るとともに、保健衛生及び環境保全に関する知識の普及啓発を図るため、各種事業を実施した。

### 4.1 学習会等への講師派遣

保健衛生・環境保全に関する講話などセンター外の学習会等に職員を講師として派遣した。平成29年度の派遣状況は表8のとおりである。

### 4.2 イベント開催・参加

センター公開デーを実施したほか、他団体主催イベントに参加した。実施状況は表9のとおりである。

### 4.3 施設見学・実験講座

施設見学・視察・県民実験室利用による実験講座等の対応を行った。実施状況は表10のとおりである。

また、技術職インターンシップとして薬学系大学生9名を8月5日に、化学系大学生5名を8月30日に受け入れた。

### 4.4 環境学習ライブラリー

センター内に「環境学習ライブラリー」を開設し、関連図書・ビデオ等の貸出しを行っている。平成29年度の新規登録者は17人、貸出し図書等延べ15点であった。

## 5 EMSへの取組

平成12年度から平成21年度にかけISO14001の認定を取得し、その知識を基に平成22年度にセンター独自のEMSを構築した。

平成23年度からは県庁全体の栃木県EMSに移行し、引き続き環境負荷低減への積極的な取組を行っている。

## 6 調査研究

### 6.1 脳卒中発症登録者に対する生命予後の検討

脳卒中発症者の生存及び死亡状況の特性の変化を把握することを目的とし、脳卒中発症登録者(2011年)の生存率の算出や、先行研究との比較検討を行った。

本調査研究は、栃木県健康増進課と連携しながら実施している。

なお、詳細は「V 研究ノート」に記載した。

表8 学習会等への講師派遣状況

実施日	名 称	主 催 者	参加者	派遣講師
29. 6. 29	山と水辺の探検ツアー	奥日光清流清湖保全協議会	14名	水環境部
29. 8. 3	中禅寺湖湖上学習会	奥日光清流清湖保全協議会	45名	企画情報部 水環境部

表9 公開デー等の実施状況

イ ベ ン ト 名	実施日	概 要 等
保健環境センター 公開デー2017	29. 7. 8	<p>テーマ「～遊ぼう！ 学ぼう！ 科学ゆうえんち～」</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 「身近な環境を調べよう」</li> <li>2 「COOL CHOICE (クール チョイス)」</li> <li>3 「ウイルスをやっつける」</li> <li>4 「保健環境センター施設見学」</li> <li>5 「ザ・ユニバーサルルーラー 宇宙ものさし」</li> <li>6 「病は気から?! ストレスチェックをしてみませんか?」、「正しい手洗いを身につけよう！」</li> <li>7 「科学の力で勇者をめざせ！」</li> <li>8 「ゴミから作ろう！遊ぼう！紙おもちゃ」</li> <li>9 「水辺の生きものを探そう」</li> <li>10 「空気と遊ぼう！」</li> <li>11 「とちぎの元気な森づくり」</li> <li>12 「大声コンテスト」 等</li> </ol> <p>来場者 677名                      ((一財) 栃木県環境技術協会、栃木県地球温暖化防止活動推進センター、                      (公財) 栃木県保健衛生事業団 食品環境検査所、とちぎの元気な森づくり県民会議と共催)</p>
ECO テック& ライフとちぎ2017  (於：マロニエプラザ)	29. 11. 3 ～4	<p>1 ブースを担当した。(主催：栃木県地球温暖化防止活動推進センター)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・紙すきしおり作成</li> <li>・保健環境センターの業務紹介パネル展示</li> </ul> <p>来場者：イベント全体で3,825名</p>

表10 保健環境センター施設見学等の実施状況

実施日	見学者	人数	内容	担当部
29. 6. 2	宇都宮市立御幸が原小学校4年生	93名	環境学習・施設見学	企画情報部 化学部 水環境部 大気環境部
29. 7. 18	宇都宮市立御幸が原小学校4年生	93名	環境学習	企画情報部 化学部 水環境部 大気環境部
29. 7. 28	とちぎ子どもの未来創造大学	14名	実験体験・施設見学	企画情報部 食品薬品部
29. 9. 28	宇都宮県税事務所若手職員	10名	施設見学	企画情報部 微生物部 食品薬品部 化学部 水環境部 大気環境部
30. 1. 16	獨協医科大学4年生	1名	施設見学	企画情報部 微生物部 食品薬品部 化学部 水環境部 大気環境部
30. 3. 15	衛生福祉大学校臨床検査学科1年生	20名	機器分析研修・施設見学	企画情報部 食品薬品部 化学部 水環境部 大気環境部